



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月5日

上場会社名 シップヘルスケアホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3360 URL <http://www.shiphd.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)古川 國久  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営企画室長 (氏名)横山 裕司 TEL 06-6369-0130  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績 (平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	109,586	1.6	4,844	△28.2	5,313	△27.0	2,974	△32.5
25年3月期第2四半期	107,808	32.9	6,751	56.4	7,284	47.6	4,406	46.5

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期3,139百万円(△32.3%) 25年3月期第2四半期 4,639百万円(103.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	73.29	72.72
25年3月期第2四半期	106.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	138,028	41,487	29.8
25年3月期	144,389	42,547	29.2

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 41,091百万円 25年3月期 42,178百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年3月期期末配当金の内訳 普通配当 35円00銭 記念配当 10円00銭

3. 平成26年3月期の連結業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	242,500	8.1	13,500	7.6	14,500	6.7	8,600	0.1	213.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

26年3月期2Q	41,290,200株	25年3月期	41,283,400株
26年3月期2Q	1,235,515株	25年3月期	2,800株
26年3月期2Q	40,577,162株	25年3月期2Q	41,256,700株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、日銀による金融緩和や安倍政権による経済政策等を背景に円安、株高が進行するとともに、個人消費の増加が景況感を押し上げたことにより、回復基調が継続いたしました。

当社グループの属する医療業界におきましては、近年の診療報酬の増額改定により医療機関の経営環境は改善傾向にあり、新生ME J（メディカルエクセレンスジャパン）の発足に伴い日本医療の海外展開に向けた動きが本格化しようとしているものの、診療報酬算定基準の厳格化議論や消費税増税への対応等、医療機関をとりまく環境は一層厳しくなっており、販売価格交渉における価格下げ圧力も依然として厳しい状況が続いております。

このような経済状況の下、当社グループにおきましては、SPD施設の新規受託分の稼働が軌道に乗り、昨年M&Aを実施した調剤薬局の業績が加わったこと等により売上高は増加しましたが、プロジェクト案件については下半期に集中する見込みであることに加え、前年同期に大型案件を多く計上していたこと、介護系施設における入居稼働率の改善が進まなかったこと等から営業利益は減少いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は109,586百万円（前年同四半期連結累計期間比1.6%増）、営業利益は4,844百万円（前年同四半期連結累計期間比28.2%減）、経常利益は5,313百万円（前年同四半期連結累計期間比27.0%減）、四半期純利益は2,974百万円（前年同四半期連結累計期間比32.5%減）となりました。

セグメントごとの業績を示しますと次のとおりであります。また、第1四半期連結会計期間より、従来、「トータルパックシステム事業」としていた報告セグメントは、「トータルパックプロデュース事業」に名称を変更しております。なお、セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

#### ①トータルパックプロデュース事業

トータルパックプロデュース事業におきましては、プロジェクト案件の完成件数は前年同期に比べ増加いたしました。大型プロジェクトの完成案件が少なく、前年と比べ下半期での計上が多い見通しであること、メーカー系各社において新規商品に係る開発費を計上したこと等により減収減益となりました。

この結果、売上高は32,942百万円（前年同四半期連結累計期間比16.7%減）、セグメント利益（営業利益）は3,018百万円（前年同四半期連結累計期間比39.8%減）となりました。

#### ②メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、SPD施設の受託件数が増加するとともに、昨年度受託した施設の業績が期初より寄与したことにより売上高は増加いたしました。新規受託施設に係る商品や人員を確保するため等の経費が増加いたしました。

この結果、売上高は56,140百万円（前年同四半期連結累計期間比10.5%増）、セグメント利益（営業利益）は839百万円（前年同四半期連結累計期間比4.6%減）となりました。

### ③ヘルスケア事業

ヘルスケア事業におきましては、昨年開設した介護系施設の立ち上げ費用を計上したこと及び既存施設における入居稼働率の改善が進まなかったこと等により、営業利益は低調に推移いたしました。

この結果、売上高は9,357百万円（前年同四半期連結累計期間比1.0%増）、セグメント利益（営業利益）は264百万円（前年同四半期連結累計期間比18.8%減）となりました。

### ④調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、既存店舗が当初計画以上に順調に推移するとともに、昨年12月に実施した(株)医療サービス研究所のM&Aにより店舗数が増加したこと、新規出店店舗の運営も順調であったこと等から堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は10,714百万円（前年同四半期連結累計期間比40.3%増）、セグメント利益（営業利益）は832百万円（前年同四半期連結累計期間比19.5%増）となりました。

### ⑤その他

その他におきましては、動物病院事業は計画通り進捗した一方、理化学機器の販売については低調に推移いたしました。

この結果、売上高は432百万円（前年同四半期連結累計期間比15.9%減）、セグメント利益（営業利益）は61百万円（前年同四半期連結累計期間比20.9%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産は138,028百万円となり、前連結会計年度末と比べて6,360百万円減少いたしました。その主な要因は、建設仮勘定が2,083百万円、現金及び預金が1,378百万円、長期貸付金が1,024百万円、商品及び製品が748百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が12,284百万円減少したこと等によるものであります。

負債は96,541百万円となり、前連結会計年度末と比べて5,300百万円減少いたしました。その主な要因は、短期借入金が6,261百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が9,721百万円、未払法人税等が1,279百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は41,487百万円となり、前連結会計年度末と比べて1,060百万円減少いたしました。その主な要因は、四半期純利益により利益剰余金が2,974百万円増加した一方、自己株式が2,348百万円増加し、配当金の支払により利益剰余金が1,857百万円減少したこと等によるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は29.8%（前連結会計年度末比0.6ポイント増）となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは2,778百万円の収入（前年同四半期連結累計期間比8,067百万円支出増）となりました。その主な要因は、仕入債務が9,713百万円減少し、法人税等の支払額が3,787百万円あった一方、売上債権が12,248百万円減少し、税金等調整前四半期純利益を5,265百万円計上したこと等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは4,302百万円の支出（前年同四半期連結累計期間比3,184百万円支出増）となりました。その主な要因は、有形固定資産の取得による支出が2,611百万円、長期貸付けによる支出が1,240百万円、投資有価証券の取得による支出が500百万円あったこと等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは2,798百万円の収入（前年同四半期連結累計期間比4,887百万円収入増）となりました。その主な要因は、長期借入金の返済による支出が2,351百万円、自己株式の取得による支出が2,348百万円、配当金の支払額が1,857百万円あった一方、短期借入金の純増加額が6,261百万円、長期借入れによる収入が3,938百万円あったこと等によるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べて1,330百万円増加し、19,121百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、概ね当初予定通りに推移しており、平成25年5月7日に公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,850	20,229
受取手形及び売掛金	54,113	41,829
有価証券	82	27
商品及び製品	7,649	8,397
仕掛品	2,031	1,830
原材料及び貯蔵品	705	724
その他	8,217	8,898
貸倒引当金	△99	△102
流動資産合計	91,551	81,835
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,962	8,848
土地	8,230	8,273
貸与資産(純額)	44	40
賃貸不動産(純額)	8,709	8,529
その他(純額)	1,892	4,009
有形固定資産合計	27,839	29,701
無形固定資産		
のれん	10,622	10,166
その他	592	670
無形固定資産合計	11,214	10,837
投資その他の資産		
長期貸付金	6,277	7,301
その他	9,485	10,219
貸倒引当金	△1,979	△1,866
投資その他の資産合計	13,783	15,654
固定資産合計	52,837	56,192
資産合計	144,389	138,028

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	53,493	43,771
短期借入金	3,281	9,543
未払法人税等	3,176	1,897
賞与引当金	1,481	1,401
その他	11,972	10,591
流動負債合計	73,405	67,205
固定負債		
社債	4,034	3,542
長期借入金	20,063	21,466
退職給付引当金	2,006	1,982
資産除去債務	207	210
その他	2,125	2,133
固定負債合計	28,436	29,335
負債合計	101,842	96,541
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,691	5,699
資本剰余金	10,061	10,068
利益剰余金	25,795	26,905
自己株式	△1	△2,349
株主資本合計	41,547	40,323
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	567	671
為替換算調整勘定	63	96
その他の包括利益累計額合計	630	768
少数株主持分	369	395
純資産合計	42,547	41,487
負債純資産合計	144,389	138,028



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	107,808	109,586
売上原価	92,295	95,365
売上総利益	15,513	14,221
販売費及び一般管理費	8,762	9,376
営業利益	6,751	4,844
営業外収益		
受取利息	169	182
受取配当金	34	31
負ののれん償却額	329	329
持分法による投資利益	15	16
その他	189	124
営業外収益合計	738	684
営業外費用		
支払利息	178	175
その他	26	40
営業外費用合計	205	215
経常利益	7,284	5,313
特別利益		
固定資産売却益	0	1
子会社株式売却益	—	3
負ののれん発生益	1	—
特別利益合計	1	4
特別損失		
投資有価証券売却損	5	—
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	11	1
事業構造改善費用	90	—
自己株式取得費用	26	51
特別損失合計	133	52
税金等調整前四半期純利益	7,151	5,265
法人税、住民税及び事業税	2,443	2,010
法人税等調整額	245	261
法人税等合計	2,688	2,271
少数株主損益調整前四半期純利益	4,463	2,993
少数株主利益	57	19
四半期純利益	4,406	2,974

四半期連結包括利益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,463	2,993
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	192	104
為替換算調整勘定	△17	41
その他の包括利益合計	175	146
四半期包括利益	4,639	3,139
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,585	3,111
少数株主に係る四半期包括利益	53	28

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	7,151	5,265
減価償却費	823	861
のれん償却額	568	785
負ののれん償却額	△329	△329
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△9	△109
賞与引当金の増減額(△は減少)	81	△72
受取利息及び受取配当金	△204	△213
支払利息	178	175
持分法による投資損益(△は益)	△15	△16
売上債権の増減額(△は増加)	7,844	12,248
たな卸資産の増減額(△は増加)	△691	△566
仕入債務の増減額(△は減少)	△943	△9,713
その他	△1,340	△1,771
小計	13,114	6,542
利息及び配当金の受取額	224	210
利息の支払額	△173	△187
法人税等の支払額	△2,319	△3,787
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,846	2,778
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△680	△482
定期預金の払戻による収入	721	490
有形固定資産の取得による支出	△1,487	△2,611
有形固定資産の売却による収入	0	2
無形固定資産の取得による支出	△73	△183
投資有価証券の取得による支出	△2	△500
投資有価証券の売却による収入	8	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△36
子会社株式の取得による支出	△2	—
短期貸付けによる支出	△391	△3
短期貸付金の回収による収入	1	6
長期貸付けによる支出	△108	△1,240
長期貸付金の回収による収入	895	259
その他	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,117	△4,302

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	565	6,261
長期借入れによる収入	2,400	3,938
長期借入金の返済による支出	△2,969	△2,351
社債の償還による支出	△562	△782
株式の発行による収入	—	14
自己株式の取得による支出	—	△2,348
配当金の支払額	△1,443	△1,857
少数株主への配当金の支払額	△2	△1
リース債務の返済による支出	△76	△74
その他	—	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,089	2,798
現金及び現金同等物に係る換算差額		
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△6	55
現金及び現金同等物の期首残高	7,632	1,330
現金及び現金同等物の期首残高	14,371	17,790
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,003	19,121

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成24年5月14日を効力発生日として当社の連結子会社であるグリーンホスピタルサプライ株式会社（以下「GHS」という。）及び株式会社セントラルユニ（以下「C&U」という。）との間で、当社を吸収分割承継会社、GHS及びC&Uを吸収分割会社とする会社分割をいたしました。当該会社分割に反対する株主より、会社法第797条第1項に基づく当社株式の買取請求がなされたことにより、第1四半期連結会計期間において当社株式1,232,700株の買取を行い、自己株式が2,348百万円増加いたしました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の四半期連結貸借対照表における自己株式は2,349百万円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	トータル バック プロデュース 事業	メディカル サプライ 事業	ヘルスケア 事業	調剤薬局 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	39,567	50,827	9,264	7,635	107,295	513	107,808	—	107,808
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	605	193	1	—	800	5	805	△805	—
計	40,173	51,020	9,265	7,635	108,095	519	108,614	△805	107,808
セグメント利益	5,010	879	325	696	6,912	78	6,990	△238	6,751

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△238百万円には、セグメント間取引消去32百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△272百万円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

当第2四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	トータル パック プロデュース 事業	メディカル サブライ 事業	ヘルスケア 事業	調剤薬局 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	32,942	56,140	9,357	10,714	109,154	432	109,586	—	109,586
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	420	227	3	—	650	5	656	△656	—
計	33,362	56,367	9,360	10,714	109,805	437	110,242	△656	109,586
セグメント利益	3,018	839	264	832	4,954	61	5,016	△171	4,844

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△171百万円には、セグメント間取引消去38百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△216百万円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 第1四半期連結会計期間より、従来、「トータルパックシステム事業」としていた報告セグメントは、「トータルパックプロデュース事業」に名称を変更しております。なお、セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。これに伴い、前第2四半期連結累計期間につきましても、当第2四半期連結累計期間と同様に「トータルパックプロデュース事業」と記載しております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

当第2四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。